

第2 介護支援の充実

1 介護保険サービス

(1) 居宅サービス

ア サービスの概要

佐世保市で実施している居宅サービスは以下のとおりである。

種類	分類	介護サービス	介護予防サービス	
対象者		要介護1～5	要支援1・2	
サービス名	訪問系	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 ・訪問入浴介護 ・訪問看護 ・訪問リハビリテーション ・居宅療養管理指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防訪問入浴介護 ・介護予防訪問看護 ・介護予防訪問リハビリテーション ・介護予防居宅療養管理指導 	
	通所系	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護 ・通所リハビリテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防通所リハビリテーション 	
	短期入所系	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護 ・短期入所療養介護 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防短期入所生活介護 ・介護予防短期入所療養介護 	
	居住系	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設入居者生活介護 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防特定施設入居者生活介護 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具貸与 ・特定福祉用具購入 ・住宅改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防福祉用具貸与 ・特定介護予防福祉用具購入 ・介護予防住宅改修 	

イ 各サービスの現状

(ア) 訪問介護

a 概要

利用者の居宅にホームヘルパー等が訪問し、食事や入浴、排せつの介助などの身体介護や買い物、洗濯、掃除などの生活援助を行う。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から利用者が増加している。要介護者等の在宅生活を支える基盤となるサービスであるため、引き続きサービスの提供体制の確保と質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

要介護者等が継続的に安心して在宅生活を送る上で必要なサービスであり、利用者の心身状態に合わせて、適切なサービスの提供に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	1,043	1,057	1,068	1,035	1,039	1,041	1,063	1,074
実績値	992	1,010	1,025					
計画比	95.1%	95.6%	96.0%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1								
要支援2								
要介護1	445	436	445	450	451	452	469	469
要介護2	267	286	299	303	304	304	311	315
要介護3	153	156	138	139	140	141	139	142
要介護4	89	83	85	86	87	87	89	91
要介護5	39	49	58	57	57	57	55	57
要支援計								
要介護計	993	1,010	1,025	1,035	1,039	1,041	1,063	1,074

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(イ) 訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

a 概要

利用者の居宅に移動入浴車などの入浴設備を持ち込み、入浴及び洗髪の介助並びに心身機能の維持及び確認を行う。

b 現状と課題

在宅の中重度の要介護者の利用が多いサービスだが、利用者数はほぼ横ばいである。要介護者等が継続的に安心して在宅生活を送る上で必要なサービスであることから、今後もサービスの提供体制を確保する必要がある。

c 今後の方針

要介護者等の心身状態や住環境に合わせて適切なサービスが提供できるよう、主治医や居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、サービス事業者との連携を図り、サービス利用を促進する。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	44	45	46	52	53	52	52	53
実績値	46	51	52					
計画比	104.5%	113.3%	113.0%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	1	2	1	2	2	2	2	2
要介護3	6	10	7	7	7	7	7	7
要介護4	11	13	14	14	14	14	15	15
要介護5	27	26	30	29	30	29	28	29
要支援計	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護計	46	51	52	52	53	52	52	53

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(ウ) 訪問看護・介護予防訪問看護

a 概要

利用者の居宅に看護師等が訪問し、主治医の指示のもとで病状の管理や処置などを行う。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から利用者が増加している。在宅生活を送る要介護者等にとって、必要なサービスであるため、引き続きサービスの提供体制を確保する必要がある。

c 今後の方針

療養を必要とする要介護者等が安心して在宅生活を送るためには、計画的かつ継続的な医学的管理が必要であるため、主治医や居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、サービス提供事業者との連携を図り、サービス利用を促進する。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	492	494	501	642	645	645	656	663
実績値	497	558	636					
計画比	101.0%	113.0%	126.9%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	19	19	17	16	16	16	17	16
要支援2	53	60	77	78	78	78	80	79
要介護1	126	144	181	184	185	185	192	192
要介護2	108	114	116	118	118	118	121	122
要介護3	82	96	102	103	104	104	102	105
要介護4	68	79	92	93	94	94	96	99
要介護5	42	48	51	50	50	50	48	50
要支援計	72	79	94	94	94	94	97	95
要介護計	426	481	542	548	551	551	559	568

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(エ) 訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

a 概要

主治医の指示のもとで、病院、診療所又は介護老人保健施設の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が通院困難な要介護者等の自宅を訪問して、要介護者等の有する能力に応じ自立した日常生活を営めるよう、理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーションを行うことにより、心身機能の維持回復を目指す。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から利用者が増加している。在宅生活を送る要介護者等にとって、それぞれの身体機能の維持に不可欠なサービスであるため、今後もサービスの提供体制を確保する必要がある。

c 今後の方針

心身機能の維持回復が必要な要介護者等が安心して在宅生活を送るためには、計画的かつ継続的なリハビリテーションが必要であるため、主治医や居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、サービス提供事業者との連携を図り、サービス利用を促進する。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	226	231	234	283	285	284	291	292
実績値	249	275	280					
計画比	110.2%	119.0%	119.7%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	18	14	16	16	16	16	17	16
要支援2	33	38	45	46	46	46	48	47
要介護1	37	45	40	41	41	41	43	43
要介護2	65	64	62	63	63	63	65	65
要介護3	44	48	44	44	45	45	44	45
要介護4	33	45	47	48	48	48	49	51
要介護5	21	21	26	25	26	25	25	25
要支援計	51	52	61	62	62	62	65	63
要介護計	200	223	219	221	223	222	226	229

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(オ) 通所介護

a 概要

利用者が通所介護事業所(デイサービス)に通い、入浴や食事、排せつなどの介護や生活相談、日常生活上の世話、機能訓練などを受ける。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が減少したが、現在は増加傾向にある。要介護者等の在宅生活を支える基盤となるサービスであるため、引き続きサービスの提供体制の確保と質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

要介護者等が継続的に安心して在宅生活を送る上で必要なサービスであり、利用者の心身状態に合わせて、適切なサービスの提供に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	1,552	1,576	1,591	1,478	1,485	1,486	1,526	1,537
実績値	1,409	1,402	1,465					
計画比	90.8%	89.0%	92.1%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1								
要支援2								
要介護1	745	736	781	789	791	792	823	822
要介護2	360	350	362	366	367	367	376	380
要介護3	176	179	184	185	187	187	185	190
要介護4	93	105	112	113	114	115	117	120
要介護5	35	32	26	25	26	25	25	25
要支援計								
要介護計	1,409	1,402	1,465	1,478	1,485	1,486	1,526	1,537

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(カ) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション

a 概要

利用者が通所リハビリテーション事業所(デイケア)に通い、自立した日常生活を営めるよう、理学療法や作業療法、その他必要なリハビリテーションを行うことにより、心身機能の維持回復を目指す。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が減少したが、現在は増加傾向にある。在宅生活を送る要介護者等にとって、それぞれの身体機能の維持に不可欠なサービスであるため、今後もサービスの提供体制を確保する必要がある。

c 今後の方針

心身機能の維持回復が必要な要介護者等が安心して在宅生活を送るためには、計画的かつ継続的なリハビリテーションが必要であるため、主治医と居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、サー

ビス提供事業者との連携を図り、サービス利用を促進する。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	2,358	2,421	2,440	2,278	2,287	2,288	2,348	2,345
実績値	2,189	2,188	2,258					
計画比	92.8%	90.4%	92.5%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	400	365	343	345	346	346	360	348
要支援2	548	547	594	600	602	602	618	612
要介護1	525	544	580	585	586	587	609	609
要介護2	385	382	374	379	380	380	389	394
要介護3	218	223	206	208	209	210	207	212
要介護4	91	101	129	130	132	132	135	139
要介護5	22	27	32	31	32	31	30	31
要支援計	948	912	937	945	948	948	978	960
要介護計	1,241	1,277	1,321	1,333	1,339	1,340	1,370	1,385

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(キ) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

a 概要

要介護等の高齢者を介護している家族が、病気や冠婚葬祭、介護疲れ等の理由により一時的に介護できなくなった場合、施設において短期間の入所を受け入れ、食事や日常生活の世話などを行う。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が減少したが、現在は増加傾向にある。居宅において、介護者の介護が受けられない場合などに利用するサービスで、要介護者等及び介護者双方の立場から必要とされるサービスであるため、実績に基づいて現状のサービス量を確保する必要がある。

c 今後の方針

居宅における介護者の高齢化に伴う介護負担の増加や家族等の事情によって、短期入所の利用ニーズも高まってきているため、サービスの趣旨に沿った利用に留意し、短期入所生活介護が必要となった者へ円滑にサービスが提供されるよう、運用の適正化を図っていく。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	518	565	571	478	481	481	489	495
実績値	424	421	477					
計画比	81.9%	74.5%	83.5%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	5	6	2	2	2	2	2	2
要支援2	21	18	25	24	24	24	25	25
要介護1	133	136	137	137	138	138	143	143
要介護2	106	96	115	116	116	116	119	120
要介護3	86	90	108	109	110	110	108	111
要介護4	50	51	64	65	65	66	67	69
要介護5	22	23	26	25	26	25	25	25
要支援計	26	24	27	26	26	26	27	27
要介護計	397	396	450	452	455	455	462	468

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(ク) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護

a 概要

介護者の事情により居宅での介護が困難になった際に、介護老人保健施設等に短期間入所し、医学的な管理のもとで看護や入浴、食事、排せつなどの介護や日常生活の世話、機能訓練などを受ける。

b 現状と課題

利用者数はほぼ横ばい状態にある。サービスの利用者が医学的管理を必要とする要介護者等であるため、ニーズに応じた現状のサー

ビス量を確保する必要がある。

c 今後の方針

居宅における介護者の高齢化に伴う介護負担の増加や家族等の事情によって、短期入所の利用ニーズも高まってきているため、サービスの趣旨に沿った利用に留意し、短期入所療養介護が必要となった者へ円滑にサービスが提供されるよう、運用の適正化を図っていく。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	47	55	55	36	36	36	37	37
実績値	46	38	36					
計画比	97.9%	69.1%	65.5%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	1	0	0	0	0	0
要介護1	11	8	6	6	6	6	6	6
要介護2	14	11	9	10	10	10	10	10
要介護3	8	6	5	5	5	5	5	5
要介護4	9	8	14	14	14	14	15	15
要介護5	5	6	1	1	1	1	1	1
要支援計	1	1	1	0	0	0	0	0
要介護計	45	37	35	36	36	36	37	37

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(ケ) 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導

a 概要

利用者の居宅に医師や歯科医師、薬剤師、管理栄養士等が訪問し、療養上の管理指導を行う。

b 現状と課題

利用者数はほぼ横ばい状態であるが、要介護者等の在宅生活を支

えるために必要なサービスであることから、今後もサービスの提供体制の確保と質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

療養を必要とする要介護者等が安心して在宅生活を送るためには、計画的かつ継続的な医学的管理が必要となるため、主治医（医師、歯科医師）や居宅介護支援事業者、地域包括支援センターとの連携を図り、サービス利用を促進する。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■（単位：人/月）

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	961	981	993	967	971	972	986	1,001
実績値	901	922	959					
計画比	93.8%	94.0%	96.6%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	27	27	27	26	26	26	27	27
要支援2	50	47	46	46	46	46	48	47
要介護1	234	233	242	246	246	246	256	256
要介護2	188	183	183	186	186	186	190	193
要介護3	155	164	186	187	189	190	187	192
要介護4	156	160	181	183	185	185	189	194
要介護5	91	107	94	93	93	93	89	92
要支援計	77	74	73	72	72	72	75	74
要介護計	824	847	886	895	899	900	911	927

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(コ) 特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護

a 概要

介護保険の指定を受けた特定施設（有料老人ホームや養護老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅）に入居する要介護者等に対し、入浴や食事、排せつなどの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供する。

b 現状と課題

各施設サービスにおいて一定数の待機者はいるものの、2021（令和3）年度をピークに高齢者数は減少に転じていることや他都市と比較して整備が進んでいることから、充足が図られていると考える。

c 今後の方針

第9期介護保険事業計画期間中の新たな整備は行わず、引き続き事業者と連携し、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■（単位：人/月）

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	1,002	1,017	1,026	994	997	998	1,022	1,033
実績値	989	1,001	984					
計画比	98.7%	98.4%	95.9%					
(再掲) 要介護度別内訳								
(※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	100	96	84	85	85	85	88	85
要支援2	125	125	110	111	111	111	114	113
要介護1	240	230	215	217	217	218	226	226
要介護2	149	156	154	155	156	156	160	162
要介護3	157	159	188	190	191	191	194	199
要介護4	152	169	174	176	177	177	180	187
要介護5	67	66	59	60	60	60	60	61
要支援計	225	221	194	196	196	196	202	198
要介護計	765	780	790	798	801	802	820	835
定員	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383		

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

※利用者の入れ替わりにより、定員数より実績値が多くなる場合あり

(サ) 福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与

a 概要

利用者が自立して日常生活を営むことができるようにするために、心身の状況や環境等に応じて適切な福祉用具の選定・貸与をする。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から利用者が増加している。今後も要介護者等の増加に伴い、利用者の増加が見込まれることから、自立支援の観点に鑑み、サービスの質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

要介護者等の心身状態や、そのおかれている環境に適した福祉用具を利用できるよう、適切な用具の選定が必要となることから、ケアマネジャーや福祉用具貸与事業者などと連携し、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	3,703	3,642	3,679	4,176	4,193	4,198	4,279	4,307
実績値	3,861	3,962	4,141					
計画比	104.3%	108.8%	112.6%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	376	360	352	355	356	356	370	358
要支援2	792	780	815	821	823	824	845	837
要介護1	607	651	715	722	723	724	753	752
要介護2	897	900	924	936	938	938	961	972
要介護3	619	636	633	639	644	646	637	653
要介護4	409	448	498	503	508	510	520	535
要介護5	162	187	204	200	201	200	193	200
要支援計	1,168	1,140	1,167	1,176	1,179	1,180	1,215	1,195
要介護計	2,694	2,822	2,974	3,000	3,014	3,018	3,064	3,112

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(シ) 特定福祉用具購入・特定介護予防福祉用具購入

a 概要

利用者が自立して日常生活を営むことができるようにするために、

特定福祉用具の購入費（限度額10万円）の7割から9割を上限として支給する。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が増加したが、現在はほぼ横ばい状態である。要介護者等の増加に伴い、利用者が増加する可能性もあることから、自立支援の観点に鑑み、サービスの質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

要介護者等の心身状態や、そのおかれている環境に適した福祉用具を利用できるよう、適切な用具の選定が必要となることから、ケアマネジャーや特定福祉用具販売事業者などに対する指導・助言を行い、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■（単位：人/月）

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	89	89	90	87	88	88	90	89
実績値	91	85	87					
計画比	102.2%	95.5%	96.7%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	16	14	14	14	14	14	15	14
要支援2	21	19	20	19	19	19	20	20
要介護1	17	16	19	20	21	21	21	21
要介護2	16	13	15	15	15	15	15	15
要介護3	12	12	11	11	11	11	11	11
要介護4	7	9	7	7	7	7	7	7
要介護5	2	2	1	1	1	1	1	1
要支援計	37	33	34	33	33	33	35	34
要介護計	54	52	53	54	55	55	55	55

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(ス) 住宅改修・介護予防住宅改修

a 概要

在宅生活に支障がないように段差解消など住宅の改修を行った際に、限度額 20 万円の 7 割から 9 割を上限として費用を支給する。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から利用者が増加している。要介護者等の在宅生活を支援するため、引き続き、サービスの質の確保及び向上を図る必要がある。

c 今後の方針

住宅改修は、要介護者等が安心して安全な在宅生活ができるよう、ケアマネジャー等が適切な助言や指導を行うとともに、住宅改修業者による適切な設計・施工が必要となる。そのため、ケアマネジャーや住宅改修業者などに対する指導・助言を行い、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	72	73	74	74	74	74	77	75
実績値	73	75	72					
計画比	101.4%	102.7%	97.3%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	17	21	16	16	16	16	17	16
要支援2	18	20	21	22	22	22	23	22
要介護1	15	14	17	18	18	18	18	18
要介護2	10	10	8	8	8	8	9	9
要介護3	7	7	6	6	6	6	6	6
要介護4	5	4	3	3	3	3	3	3
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援計	35	41	37	38	38	38	40	38
要介護計	38	36	35	36	36	36	37	37

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(セ) 居宅介護支援・介護予防支援

a 概要

居宅介護支援は、利用者の意向や自立支援をもとにしたケアマネジャー等によるケアプランの作成やサービス提供事業者との連絡調整など居宅サービス利用に関わる総合調整を行うサービスである。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃から利用者が増加しており、引き続き、サービスの確保とケアマネジャーの資質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

サービス利用中の者に対しては、要介護認定状態の改善・悪化防止を目的としたケアマネジメントを行い、より適切な支援を行う必要がある。今後も、ケアマネジャーや地域包括支援センター等と連携し、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	6,233	6,329	6,359	6,499	6,521	6,528	6,689	6,705
実績値	6,213	6,307	6,440					
計画比	99.7%	99.7%	101.3%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	725	681	651	656	657	657	683	661
要支援2	1,149	1,144	1,198	1,207	1,211	1,211	1,243	1,231
要介護1	1,986	2,026	2,103	2,125	2,129	2,132	2,215	2,214
要介護2	1,164	1,180	1,179	1,195	1,197	1,197	1,226	1,240
要介護3	651	692	676	682	687	690	680	697
要介護4	383	407	447	451	456	458	466	480
要介護5	157	177	186	183	184	183	176	182
要支援計	1,874	1,825	1,849	1,863	1,868	1,868	1,926	1,892
要介護計	4,341	4,482	4,591	4,636	4,653	4,660	4,763	4,813

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(ソ) 高額介護サービス事業

a 概要

高額介護サービス事業は、介護保険サービスを利用した場合、利用した月（1か月分）の利用者負担額が、個人又は世帯の負担上限額を超えた場合に、申請によって、超えた額を支給する制度である。

b 現状と課題

給付実績は伸びているが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う介護サービスの利用控えにより、計画と実績の乖離が生じている。当該サービスを利用されない方に対し、勧奨通知を毎月発送しているが、引き続き未申請者への周知を図っていく必要がある。

c 今後の方針

利用者の負担軽減のため、介護サービス利用者だけでなく事業所やケアマネジャーにも制度の周知に努め、積極的に制度利用を促進する。

d 実績等

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
支給額	計画	606,575千円	614,065千円	618,355千円	588,534千円	589,386千円	589,386千円	591,268千円	591,268千円
	実績	558,235千円	563,157千円	598,916千円					

※令和5（2023）年度の実績は見込み

(タ) 高額医療合算介護サービス事業

a 概要

高額医療合算介護サービスは、1年間にかかった医療保険と介護保険の自己負担額の合算額が、世帯員の年齢、所得に応じて定められた限度額を超えた場合に、申請によって、自己負担限度額を超えた額を医療保険、介護保険の自己負担の比率に応じて支給する制度

である。

b 現状と課題

高齢者数の増加や制度の浸透が図られたことなどにより、申請率が伸びてきており、利用者等に対する制度の周知を行っていく必要がある。

c 今後の方針

利用者の負担軽減のため、高額介護サービス事業とともに制度の周知を行い、円滑な事業の実施に努める。

d 実績等

		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
支給額	計画	97,816千円	99,024千円	99,716千円	84,980千円	84,980千円	84,980千円	70,783千円	70,541千円
	実績	86,834千円	81,997千円	84,569千円					

※令和5（2023）年度の実績は見込み

（2）地域密着型サービス

ア サービスの概要

地域密着型サービスとは、認知症高齢者や一人暮らし高齢者等の増加を踏まえ、高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるように設けられたものである。原則として、所在市町村の住民のみが保険給付の対象となるため、地域の実情を踏まえながら、地域単位（日常生活圏域単位など）で適切なサービス基盤の整備を行っている。

地域密着型サービスに含まれるサービスの種類は以下のとおりである。

介護サービス	介護予防サービス
要介護 1～5	要支援 1・2
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間対応型訪問介護 ・小規模多機能型居宅介護 ・認知症対応型通所介護 ・地域密着型通所介護 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ・看護小規模多機能型居宅介護 <p><居住系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型共同生活介護 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防小規模多機能型居宅介護 ・介護予防認知症対応型通所介護 <p><居住系></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防認知症対応型共同生活介護

イ 各サービスの現状

(ア) 夜間対応型訪問介護

a 概要

夜間対応型訪問介護は、要介護者が夜間でも安心して生活できるように、利用者宅への定期的な巡回訪問や通報により、介護福祉士等が居宅を訪問して、入浴や排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、緊急時の対応を行うサービスである。

b 現状と課題

事業所数は人口20万～30万人に1事業所が目安とされており、現在、目安となる1事業所が開設していることから、サービスの提供体制は確保されている

c 今後の方針

新設を希望する事業者があれば随時指定を行い、引き続き事業者と連携を図りながら、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	13	13	13	10	10	10	10	10
実績値	13	15	8					
計画比	100.0%	115.4%	61.5%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要介護1	5	6	5	6	6	6	6	6
要介護2	3	4	1	2	2	2	2	2
要介護3	4	3	1	1	1	1	1	1
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	1	1	1	1	1	1	1
要介護計	12	14	8	10	10	10	10	10

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

【意見】

実績と計画が示されているもののうち、2023(令和5)年度の計画比が61.5%となっている(なお、上記表の同年度の数値は実績値(見込)で、実績は9となり、実際の計画比は69.2%となる)。2024(令和6)年度以降は計画値が10となっているが、仮に2023(令和5)年度の実績値のまま推移したとしても、計画比は9割にとどまることになる。一定の需要がある事業であるから、実績が低迷した原因を確認すべきである。

(イ) 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

a 概要

小規模多機能型居宅介護は、在宅の要介護者等の容態や希望に応じて、「通い」を中心に「訪問」や「宿泊」を提供する介護サービスである。家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、入浴や排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行い、利用者の状態や希望に応じ、随時の「訪問」や「宿泊」のサービスを組み合わせて提供し、在宅での自立した日常生活を支援する事業であ

る。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が減少し、その傾向が続いている。利用者の希望や容態により訪問や泊りを組み合わせて提供できることから、在宅生活を送る要介護者等にとって必要なサービスであるため、サービスの提供体制の維持と質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

新設を希望する事業者があれば随時指定を行い、引き続き事業者と連携を図りながら、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	1,055	1,073	1,085	872	876	878	894	902
実績値	972	930	866					
計画比	92.1%	86.7%	79.8%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	64	62	61	61	61	61	63	61
要支援2	89	75	63	63	63	63	65	64
要介護1	265	251	223	225	226	226	235	235
要介護2	194	180	175	177	178	178	182	184
要介護3	168	160	143	144	145	146	144	147
要介護4	138	146	149	151	152	153	156	160
要介護5	54	57	52	51	51	51	49	51
要支援計	153	137	124	124	124	124	128	125
要介護計	819	794	742	748	752	754	766	777

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(ウ) 認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

a 概要

要介護者等で認知症の利用者が可能な限り居宅において、その有

する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、心身の機能を維持するとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る事業である。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が減少したが、現在は増加傾向にある。認知症高齢者が在宅生活を継続する上で必要なサービスであるため、サービスの提供体制の維持と質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

新設を希望する事業者があれば随時指定を行い、引き続き事業者と連携を図りながら、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■ (単位：人/月)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	422	439	442	450	452	452	464	468
実績値	405	418	448					
計画比	96.0%	95.2%	100.4%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要支援1	5	4	2	2	2	2	2	2
要支援2	1	4	2	2	2	2	3	2
要介護1	222	232	253	254	255	255	265	265
要介護2	90	88	85	86	86	86	88	89
要介護3	50	55	59	59	60	60	59	61
要介護4	24	22	32	32	32	32	33	34
要介護5	13	14	15	15	15	15	14	15
要支援計	6	8	4	4	4	4	5	4
要介護計	399	411	444	446	448	448	459	464

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり

(エ) 地域密着型通所介護

a 概要

利用者が通所介護事業所（デイサービスセンター）に通い、入浴や食事、排せつなどの介護や生活相談、日常生活上の世話、機能訓練などを受ける事業である。2016（平成28）年4月に、利用定員が18人以下の小規模な事業所は、通所介護から地域密着型通所介護に移行された。

b 現状と課題

新型コロナウイルス感染症が感染拡大した頃に利用者が減少したが、現在は増加傾向にある。在宅生活を送る要介護者等にとって、必要なサービスであるため、サービスの提供体制の維持と質の向上を図る必要がある。

c 今後の方針

新設を希望する事業者があれば随時指定を行い、引き続き事業者と連携を図りながら、サービスの質の向上に努める。

d 実績等

■ 利用者数の実績と計画 ■（単位：人/月）

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
計画値	504	512	516	514	516	516	528	532
実績値	456	504	511					
計画比	90.5%	98.4%	99.0%					
(再掲) 要介護度別内訳 (※令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)は実績値(見込)、令和6年度(2024年度)～は計画値)								
要介護1	247	252	238	240	240	241	250	250
要介護2	111	137	138	139	139	139	143	144
要介護3	55	65	74	75	75	75	74	76
要介護4	34	34	35	35	36	36	36	37
要介護5	10	16	26	25	26	25	25	25
要介護計	457	504	511	514	516	516	528	532

※端数処理の関係上合計が合わない場合あり